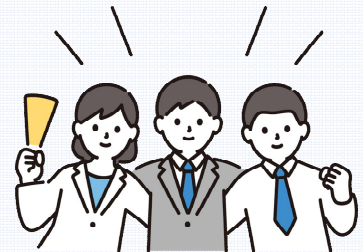


鹿沼市産業経済未来創造懇談会 、第4回、 『かぬまエコノミーティング』

2026 5/18 MON 10:00～ 鹿沼72カントリークラブ

- I 市長あいさつ
- II 自己紹介
- III 第4回会議について
- IV ミーティング



《第1部》

テーマ：「みんなで考え、みんなで楽しむ西北部地域の活性化」
～つながる力でつくる、かぬまの未来産業～

《第2部》

テーマ：「経済情勢について」

- V その他

II ミーティングメンバー

(順不同 敬称略)

団体名	役職名	氏名	備考
鹿沼商工会議所	女性会 会長	瀬谷 一世	
粟野商工会	理事	矢野 直政	
上都賀農業協同組合	代表理事組合長	青木 孝雄	
鹿沼市森林組合	総務課長補佐	岡部 真一	
粟野森林組合	代表理事組合長	神山 義一	
鹿沼相互信用金庫本部	業務統括部 部長	持丸 正吾	
	業務統括部 副部長	福田 大輔	
足利銀行鹿沼支店	支店長	黒崎 雄一郎	
栃木銀行鹿沼支店	支店長代理	門口 裕貴	
鹿沼グループ	代表取締役社長	福島 範治	
鹿沼ケーブルテレビ(株)	取締役統括本部長	野口 重彦	ファシリテーター
鹿沼市	市長	松井 正一	
	副市長	福田 義一	

事務局
 鹿沼市経済部産業振興課産業振興係
 ☎0289-63-2196
 E-mail: sangyou@city.kanuma.lg.jp

Ⅲ 第4回会議について

◆これまでの経過

- ▷令和6年度に開会に先立ちキックオフミーティングを実施
- ▷令和7年度は3回のミーティングを実施し、各回のテーマは、
 - ・第1回「Mide in 鹿沼」のまちづくり
 - ・第2回「Mide in 鹿沼」のまちづくり（女性中心による）
 - ・第3回 協働・共創による新たな産業・経済振興策について
- ▷ミーティングで出された様々な意見は、第9次鹿沼市総合計画に位置付け
- ▷令和8年度は2回のミーティングを予定
- ▷令和8年度のミーティングのテーマについては、第3回ミーティング終了後にアンケートを実施し、決定

◆今年度のテーマ

第1回	テーマ	「みんなで考え、みんなで楽しむ西北部地域の活性化」 ～つながる力でつくる、かぬまの未来産業～
	設定理由	ミーティングメンバーがそれぞれ、本市西北部の活性化について考え、議論すること自体に意義があり、さらに多くの意見・提案等を通じて、さらなる可能性が導き出されることを期待。 また、観光面だけでなく、参加団体が連携することで、新たな地域産業が生まれることを期待
第2回	テーマ	「みんなで考え、みんなで楽しむ中心市街地の活性化」 ～つながる力でつくる、かぬまの未来産業～
	設定理由	市中心部において、新たな取り組みが生まれている中、他地域を活動母体とするメンバーが提案する連携方策などを期待

▶ と…いうわけで、今回のミーティングテーマは、

「みんなで考え、みんなで楽しむ西北部地域の活性化」

～つながる力でつくる、かぬまの未来産業～

としました。

人や団体が連携し、協働・共創による

西北部地域での新たな地域産業創出の可能性を期待して。



◎ **皆さんが考える、本市西北部の活性化について、
自由な発想でご意見・ご提案をお願いします。**

IV ミーティング

《第1部》

「みんなで考え、みんなで楽しむ西北部地域の活性化」

～つながる力をつくる、かぬまの未来産業～

- ◎意見交換を深めていただくため、今年度からスタートした「第9次鹿沼市総合計画（概要・抜粋）」（「参加者用テキスト」P24～）、「市内各地域の資源一覧」（「参加者用テキスト」P52～）を用意しました。
- ◎皆さんが考える、西北部の活性化について、自由な発想でご意見・アイデアをお願いします。
- ◎今回の総合計画では、「鹿沼+（プラス）」がキーワードになっています。

◆鹿沼+（プラス）とは…

◎鹿沼には新たなまちづくりの素材となる、自然・歴史・文化・産業・イベント・グルメが揃っています。新しいまちづくりでは、様々な素材をコラボレーション（+プラス）することで新たな効果を生み出す可能性があります。様々な異分野との連携に努め、事業展開を目指します。

例) 🍷 「キャンプ+」

アウトドアのメッカになりつつある本市にキャンプやグランピングを目的に来た人が他の体験やレジャーを楽しんでもらう。

🍷 「ゴルフ+」

市内のゴルフ場を利用したゴルファーが、帰りにグルメを楽しみ、お土産を買って帰る。

🍷 「仕事+」

仕事のために来鹿したビジネスマンが、自然や温泉などを感じ日々の疲れを癒してもらう。

他にも、「イベント+」、「いちご+」など、プラスの可能性は無限大です。

◎「鹿沼+（プラス）」という戦略ワードにより、鹿沼の魅力アピールと関係人口の増加に結び付く事業を市民や企業が自由に展開します。

例) 🍷 私たちの団体（会社）では、〇〇ができるので、是非、△△△と組んでみたい。

🍷 イベントと合わせて〇〇〇をPRして、△△△と連携すれば、新たな取り組みになるかも。

🍷 〇〇地区の文化財と〇〇地区の地域資源を組み合わせれば、鹿沼で一日遊べるかも。



1 既存イベントとの連携・活用



2 うちの団体・会社との連携した取り組み



3 「〇〇〇+◇◇◇」の取組(プラス戦略)



4 新たな事業展開への提案



5 みんながアッと驚く、突拍子もない提案を！



それでは、『レッツ・ミーティング！！』

《第2部》

「経済情勢について」

中東情勢の不安定化による原油不足やそれに伴う石油由来製品の品薄問題、また物価高騰や労働力の不足など、私たちを取り巻く経済情勢は大変厳しくなっています。

そのような中、各団体（業界）の現状、今後求めたい支援策や実施（検討）している対策など、情報共有を図りたいと考えます。

各団体（業界）等の現状

現状の経済情勢を鑑み、求めるべき支援策について

自由意見



参考：かぬまってどんなところ？（鹿沼自慢の一例）

- 🍷 面積は490.64km²（県内3位）、うち7割が森林で、森林資源が豊富。
- 🍷 7本（大芦川、荒井川、南摩川、粟野川、思川、永野川、黒川）の清流が流れ、まちなかで鮎も釣れる。
- 🍷 農林商工・サービス業等のバランスがよく、不景気にも強いまち。（昔から食えなくなったら鹿沼に行け…。と言われていたらしい）
- 🍷 木工業、機械金属、精密機械等は世界進出をはたしている。
- 🍷 宇都宮市に隣接し、2本の鉄道（JR・東武）も通り、有力な移住・定住の候補地。
- 🍷 いちごやにら等、鹿沼でできない農産物はない？と言われてきた中で、近年では“いちご市”として売り出し中。
- 🍷 麻、鹿沼土は本市の特産物。
- 🍷 民俗文化も世界に誇れる実力。鹿沼秋まつり（国重文：ユネスコ無形文化遺産登録）、発光路強飯式（国重文）、生子神社泣き相撲（国選文）…、高村光雲の「老猿」のふるさと、松尾芭蕉の足跡も残っている。
- 🍷 まちの駅設置数日本一（96か所）ということで、「おもてなしのまち」「アウトドアのまち」としても、次の展開を狙っているところ …
などなど